タイトル	令和5年度富士山安全装備品等整備補助金事業				
内容	平成 27 年度から、保者を守るため、安全会費の 3/4 (上限 3,000,この制度を活用し、各山小屋にそれぞれ 2 山小屋の電源は、非だの火山現象により使いックアップなどに使用この配備により、非路体制の強化や市消防に誘導などに繋がるもので電源の主な仕様は、こ	接備品を整備するのの円)を限 富士山吉田口が 台、合計 32 台 常用電泳くなる するため配備し 常時の際にも電 常時の際にも電 できます。	する山小屋などの関度に補助金を交付に を館組合は本年度、 が配備します。 で賄っていますが、 る可能性があるため、 します。 電源を賄えることが 登山者などへの円滑	原係者・関係区しています。 ポータブル電 噴火の際は噂 の、非常時に値 が期待でき情報 が関係を	団体に対して経 監源を 16 軒の 電石や火山灰な 開え、電気のバ 最伝達などの連 の対率的な避難
問合せ 	富士山火山対策室	担当者名	古屋	連絡先 	内線 258
備考					